

100億宣言



ヨロズ精工株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
萬 基起

経営理念「人と最善の技術で、社会に貢献する」

当社は長年培ってきた技術力と人材力を基盤に、新しい価値を創造し続ける企業へと進化し、売上高100億円を達成したいと考えております。私たちが目指すのは、単なる経営規模の拡大ではありません。顧客満足を徹底追求し、社員一人ひとりの成長と待遇改善を実現しながら、地域社会への雇用創出や産業振興にも貢献することに意義があります。これからも挑戦を恐れず、多様な市場ニーズに応えられる企業を目指します

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円を達成するため、主力の自動車部品製造で年率10%程度の成長を目指すと同時に、EV・ロボットなど新規市場を開拓し、国内外の需要拡大を着実に取り込む。さらに、高付加価値製品へのシフトで利益体質を強化する。人材育成と技術継承を強化することで、次世代モビリティ市場での競争力を確立する

課題

EVシフトや人材確保の困難、価格競争の激化が主要な課題である。とりわけ、新工場稼働時の生産移管や品質保証体制の強化には相当な設備投資と人員育成が必要となる。さらに、急速なDX化や素材価格の変動への対策、資金繰りリスクと供給安定の両立も喫緊の課題である。組織面・人材面の強化を急務とし、迅速な戦略対応が不可欠である

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

当社は自動車（EV含む）市場の深耕と・ロボットなど新興市場を開拓し、薄肉高精度部品と迅速な生産対応でシェアを拡大する。具体的な手段として生産キャパシティ拡大のために橋本工場を建設。自動化ラインを敷設する。既存ラインへは先端技術を導入し、高付加価値化と量産・多品種少量の柔軟対応を両立。自社ブランドの切削工具販売やユニット化による収益多角化も推進し売上高100億円への飛躍を実現する

実施体制

経営トップを本部長とするプロジェクト本部を設置し、製造・技術・営業・管理部門が一体となって計画を推進する。チームは新工場建設やDX推進など分野別に編成し、月次モニタリングで進捗を可視化。金融機関や専門家の支援を得て資金確保とリスク管理を徹底し、次世代リーダー育成にも注力。全社が迅速かつ柔軟に意思決定できる体制を整え、100億企業への成長を力強く後押しする



本社工場

○本社所在地：大阪府堺市西区草部1235番地1

○事業概要：
・自動車・産業機械向け精密部品の製造
・ベアリング用部品や専用工具の開発・製造・販売

○常時使用する従業員：106名
（2025年1月期）

○現在の売上高：39.3億円
（2025年1月期）

○法人番号：8120101007701

○Web：<https://yorozu-seiko.jp/>

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けた具体的措置

1. 実現目標・課題の補足

(1) 実現目標

- 2035年の売上高100億円を達成し、主要取引先とのシェア拡大と新規顧客開拓による安定収益基盤を形成する
- 自動車部品（EV用含む）を柱に、ロボット・産業機械用の薄肉高精度旋削部品への事業展開を進めて年率8～20%程度の成長を確保

(2) 課題

1. EVシフトやロボット化の加速に伴う高度な技術対応が不可欠であり、人材育成や設備投資の拡充が急務
2. 生産能力拡大に伴う品質保証体制の強化が必須。品質リスク・不良率増加を抑えるための管理システムや検査工程の高度化が課題
3. 価格競争が激化する中で付加価値向上と生産効率化をどう両立するか。DXを活用した工程改革が鍵となる
4. 地域人材の確保・定着やグローバル市場への参入など組織能力のスケールアップが必要
5. 追加投資に伴う資金繰りリスクや不測の経済変動に対する備えを強化する必要がある

単位：百万円

売上高

百億円
達成
